

選別施設内で発生した事故について

本日、資源物（缶・びん・ペットボトル）の選別施設において、選別作業中に、異物として入っていた熊よけスプレーの成分が空气中に漏れたことにより、選別業務に従事している作業員 11 名が救急搬送される事故が発生しました。

1 発生日時・場所

平成 29 年 11 月 8 日（水）午前 10 時 35 分頃
緑資源選別センター（横浜市緑区上山 1-3-1）

2 事故の概要

緑資源選別センター A 棟の破袋補助室にて、選別作業中、コンベヤに流れてきた熊よけスプレーを作業員が取り出し、地面にある専用かごに入れた際、スプレーに含まれるカップサイシンが外に漏れてしまい、作業していた 11 名が、気分が悪いなどの体調不良を訴え、救急搬送されました。

※当該施設の管理運営は、本市が公益財団法人横浜市資源循環公社（以下「資源循環公社」という。）に委託しており、そのうち本選別業務について、横浜市資源リサイクル事業協同組合の作業員が従事しています。

3 負傷者の状況

軽傷（11 名全員）

4 事故原因

- ・本来、スプレー缶として出されるべき熊よけスプレー缶が中身が入ったまま、缶・びん・ペットボトルと一緒に排出されていたため。
- ・選別作業において、異物を専用かごに入れる際、作業の丁寧さに欠けたため。

5 再発防止策について

選別業務においては十分な安全を確保するよう、資源循環公社と共に取り組んできたところですが、今回の事故を踏まえ、改めて事故防止の取組について、資源循環公社へ指導します。

また、スプレー缶の適正な排出方法（※）について、市民の皆様への周知を徹底してまいります。

※適正な排出方法：スプレー缶だけをまとめて、中は使い切って、透明または半透明の袋に入れて燃やすごみと同じ曜日に排出する。

お問合せ先

資源循環局業務課長 服部 敬久 Tel 045-671-2532

【参考】 混入していた熊よけスプレー

